

第6回 北千葉道路連絡調整会議

平成28年12月19日

**千葉県
国土交通省関東地方整備局首都国道事務所**

1. 前回の連絡調整会議

【前回の確認事項】

北千葉道路は、国際空港へのアクセスや周辺の高速度道路ネットワークも踏まえつつ、沿線市の意見も踏まえ、

- 首都圏(東京外環)と成田空港を連結するため、規格の高い道路(自動車専用道路)とすること
- 地域道路の慢性的な渋滞を緩和するため、一般道路を併設すること

【前回の「直轄調査の状況報告」で示された今後の検討課題】

- 課題① 構造形式の適用範囲
- 課題② 専用部と一般部の連結位置
- 課題③ 鎌ヶ谷以東の構造
- 課題④ 整備手法

等

2. 前回の連絡調整会議からの動き

【前回の『今後の検討課題』に対する『沿線市の意見』】

○課題① 構造形式の適用範囲

- 沿道の土地利用のため、一般部4車線が必要。(松戸市)
- 専用部と一般部を合わせた8車線の構造としてほしい。(松戸市、鎌ヶ谷市)
- 主要交差道路を分断しない構造としてほしい。(鎌ヶ谷市)
- 地域分断とならないよう盛土でなく立体構造としてほしい(松戸市、鎌ヶ谷市)

○課題② 専用部と一般部の連結位置

- 連結路を市内につくってほしい。(松戸市、鎌ヶ谷市、白井市)
- 国道464号から国道16号へのアクセス強化をお願いします。(船橋市)

○課題③ 鎌ヶ谷以東の構造

- 鎌ヶ谷～国道16号間に専用部、国道16号～白井市間にも開通済の8車線区間と同様な構造を設置すべき。(鎌ヶ谷市、船橋市、白井市)
- その中でも鎌ヶ谷～国道16号間は早期整備してほしい。(全市)

○課題④ 整備手法

- 早期整備のため有料道路事業を活用して進めてほしい。(全市)

2. 前回の連絡調整会議からの動き

○平成28年11月21日 国土交通大臣へ要望を実施

国土交通大臣
石井 啓一様

北千葉道路の全線直轄編入及び
有料道路事業活用に関する要望



平成28年11月21日
千葉県知事 森田 健作



【要望内容】

- 1 北千葉道路の西側区間(小室IC以西)については、広域高速移動強化のため、専用部と一般部を併設した規格の高い道路で整備すること。
- 1 全線開通の実現に向け、西側区間(小室IC以西)の早期事業化を図るとともに、全線の直轄編入を図ること。
- 1 北千葉道路の早期整備のため、西側区間(小室IC以西)について有料道路事業制度を活用すること。
- 1 道路予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。

2. 前回の連絡調整会議からの動き

○国土交通大臣への要望結果



国土交通大臣との面談状況

千葉県知事、沿線市長等(鎌ヶ谷市、市川市、松戸市、白井市、船橋市、印西市、成田市)

【森田千葉県知事コメント】

- ・北千葉道路を1日でも早く完成させたい。
そのために有料道路制度を活用してほしい。

【石井国土交通大臣コメント】

- ・幹線道路協議会を年内に開催し、
(有料道路として)西側区間の整備案を
まとめようと考えている。



北千葉道路の整備状況。有料化が提案されるのは西側区間の15%。

北千葉道路(一期)の整備は、既に西側区間の15%が有料化される。西側区間の整備は、既に西側区間の15%が有料化される。西側区間の整備は、既に西側区間の15%が有料化される。

北千葉道 有料化提案へ 国交相、年内に「道路協」

北千葉道路の早期完成に向け、森田健作知事と沿線7市の首長らは21日、石井国土交通相に対し、同道路15%について有料道路化を検討するよう要望した。石井国交相は、国や県、高速道路会社で「1日でも早く」幹線道路協議会を年内に開催し、有料化を踏まえた整備案を提案するようを明言した。本県で同協議会が開催されれば18年中心。

要望には森田知事は「7市の市長や副市長、議員ら、鎌ヶ谷市、市川、松戸、国會議員らが参加。同道路の小笠インターチェンジ以西に成田、印西、白井、船橋の市川市が中心。21日午後、森田知事と沿線市長ら21日、国交省



石井国交相(左から5人目)に要望書を手渡す森田知事と沿線市長ら=21日、国交省

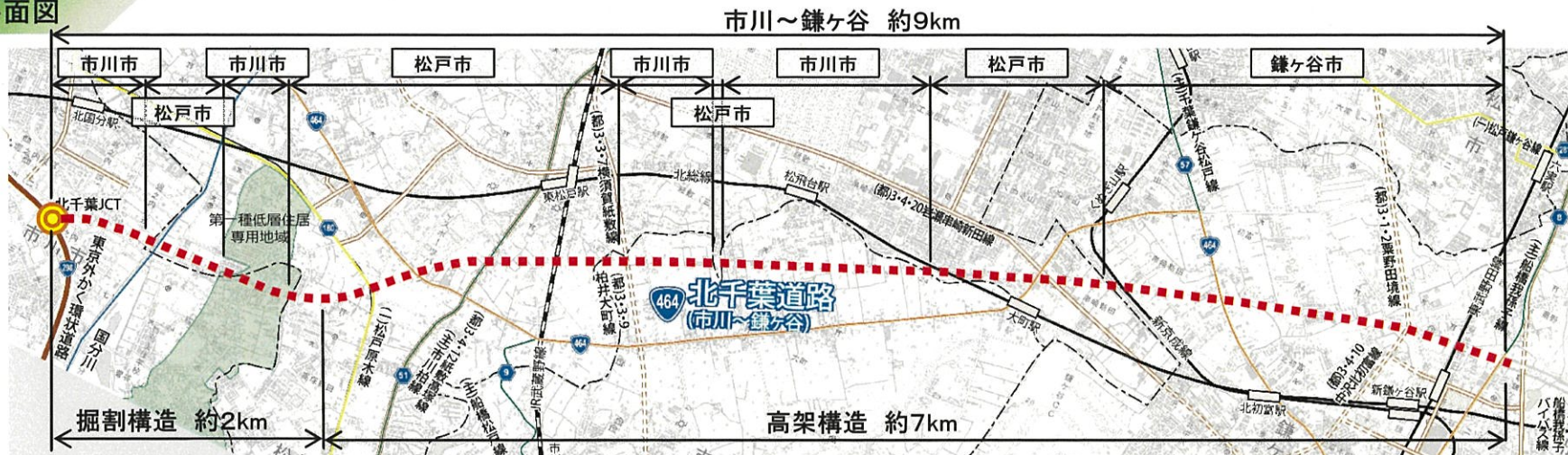
石井国交相は「北千葉道路の早期完成に向け、沿線7市の市長や副市長、議員ら、鎌ヶ谷市、市川、松戸、国會議員らが参加。同道路の小笠インターチェンジ以西に成田、印西、白井、船橋の市川市が中心。21日午後、森田知事と沿線市長ら21日、国交省

石井国交相は「北千葉道路の早期完成に向け、沿線7市の市長や副市長、議員ら、鎌ヶ谷市、市川、松戸、国會議員らが参加。同道路の小笠インターチェンジ以西に成田、印西、白井、船橋の市川市が中心。21日午後、森田知事と沿線市長ら21日、国交省

H28.11.22
千葉日報1面

3. 検討状況(課題①構造形式の適用範囲について)

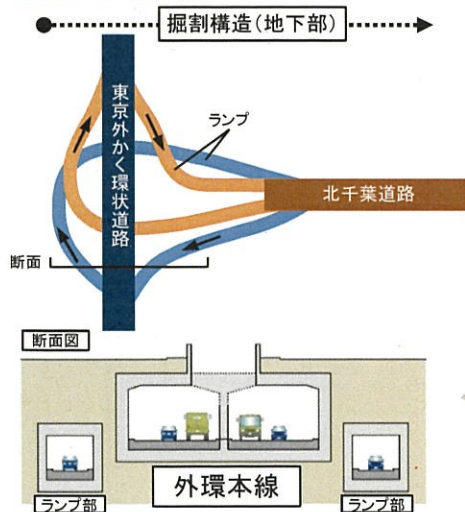
平面図



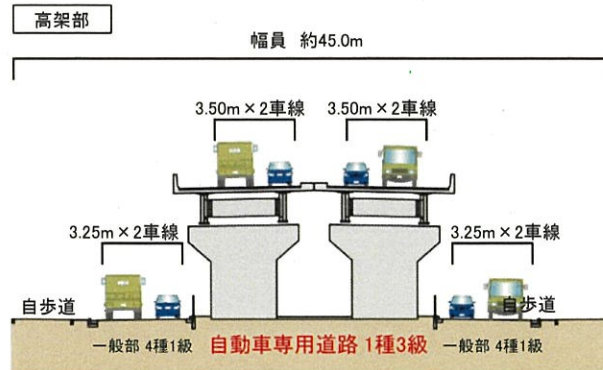
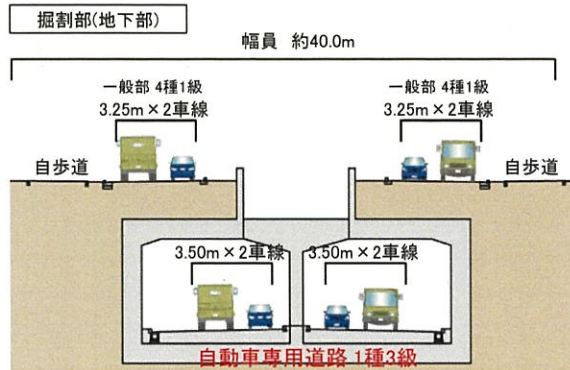
1. 北千葉道路については、成田空港アクセスの重要性、地域交通の混雑緩和など、県や沿線市からの意見・要望を踏まえ、早期整備が可能な高架構造を基本。
2. 但し、北千葉JCTから約2kmの区間は、千葉外環との連続性を踏まえ、掘割構造で計画。

※今後、地元の意向を確認しつつ、必要に応じて柔軟に基本構造を修正することも想定

北千葉JCTの構造



断面図



※幅員については、道路構造令の車道幅員、路肩、自転車歩行者道等を基に計画。今後、地元の意向を確認し詳細を検討

3. 検討状況(課題②専用部と一般部の連結位置について)

専用部と一般部の連結位置については、沿線市より意見を頂いているところ。

○連結路を市内につくってほしい。(松戸市、鎌ヶ谷市、白井市)

○国道464号から国道16号へのアクセス強化をお願いする。
(船橋市)

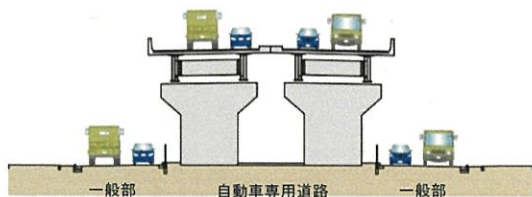


今後、県において、アクセス可能な主要交差道路の交通状況や、その将来の整備計画など、沿線市の意見を聞きながら、連結位置の検討を進めていく予定。

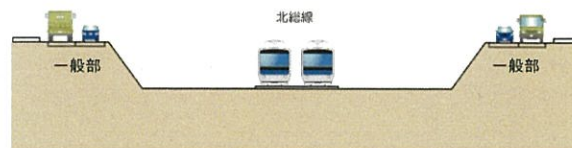
3. 検討状況(課題③鎌ヶ谷以東の課題について)



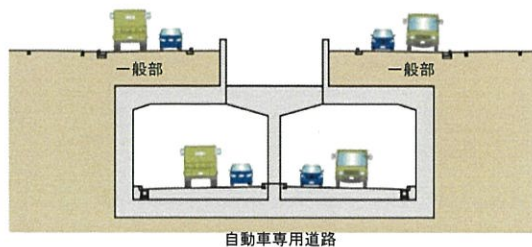
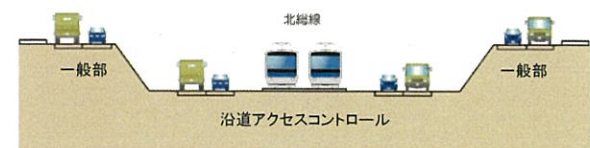
・自動車専用道路(4車線)と一般部(4車線)の併設で検討中



・一般部4車線が供用済み

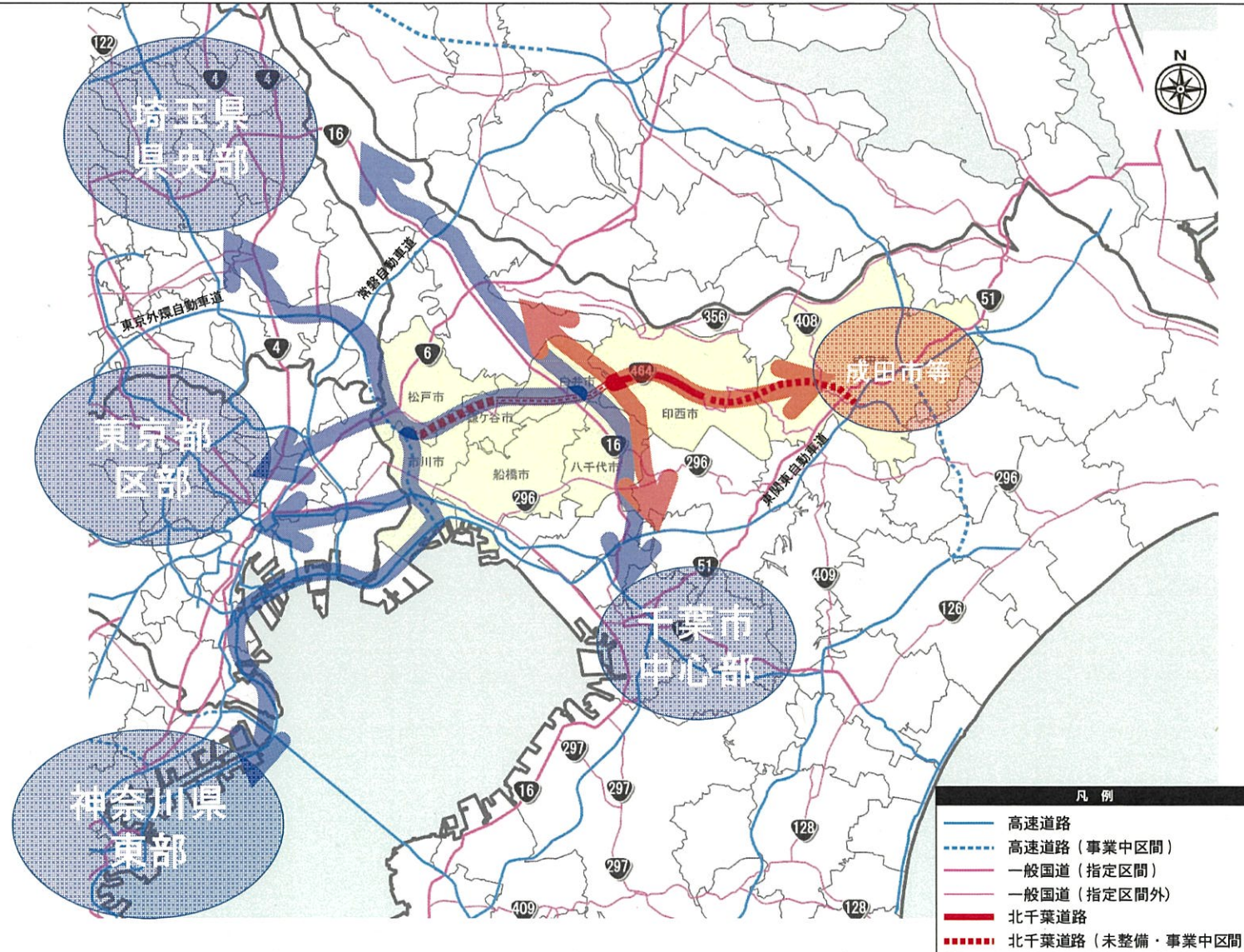


・沿道アクセスをコントロールした4車線と一般部4車線が供用済み



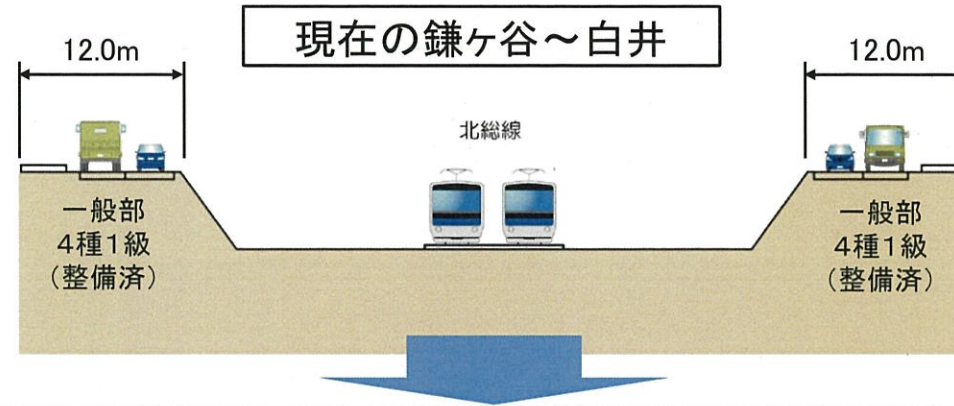
3. 検討状況(課題③鎌ヶ谷以東の課題について)

- ・ 北千葉道路と交差する国道16号は東京環状道路とも呼ばれ、常磐自動車道や東関東自動車道等の高速道路と接続し、さいたま市や千葉市などの主要な都市を結ぶ広域交通機能を担う幹線道路である。
- ・ 北千葉道路の国道16号以西は、外環道路と接続し、首都圏との広域交通ネットワークを形成。 国道16号以东は、主に成田空港方面のアクセス強化。



3. 検討状況(課題③鎌ヶ谷以東の課題について)

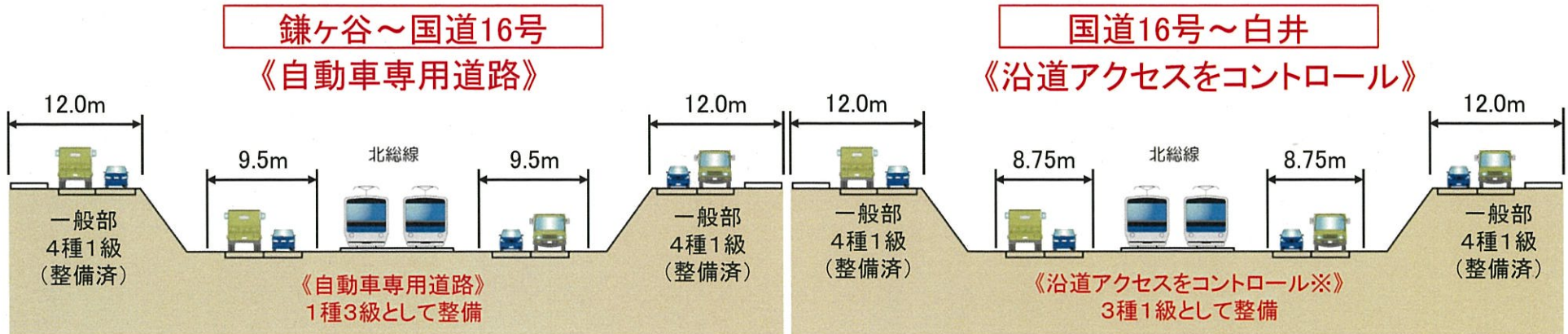
高速道路と成田空港を結ぶ重要なネットワークとして速達性・定時性の向上が必要



北千葉道路と国道16号のネットワークの特性を踏まえ、

- ・「鎌ヶ谷～国道16号」間は、外環や国道16号とアクセスする広域交通ネットワークとして、自動車専用道路を整備
- ・「国道16号～白井」間は、成田空港方面のアクセス強化として、沿道アクセスをコントロールした一般道路を整備

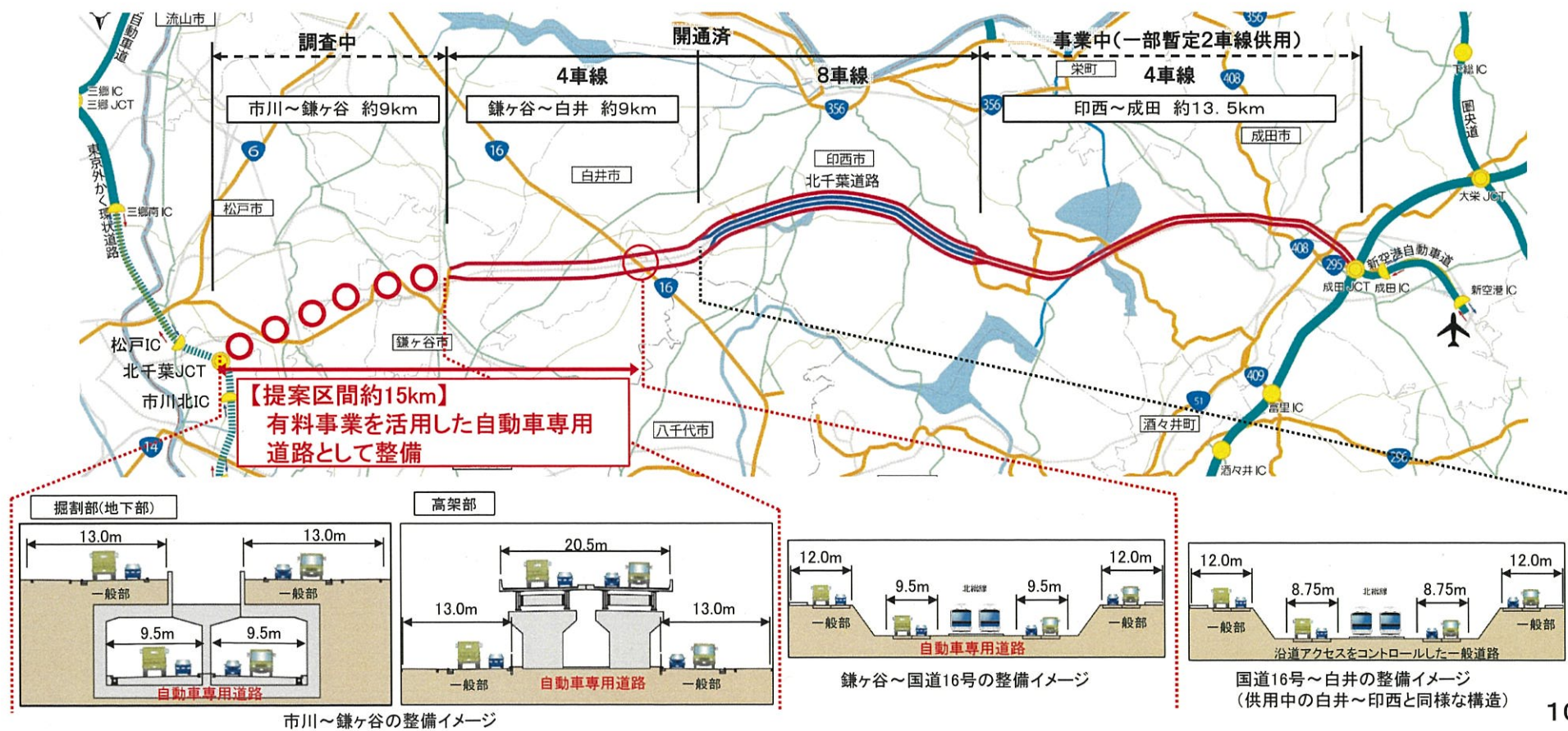
※今後、詳細な道路構造については検討が必要



※参考 供用中の白井～印西間も同様な構造

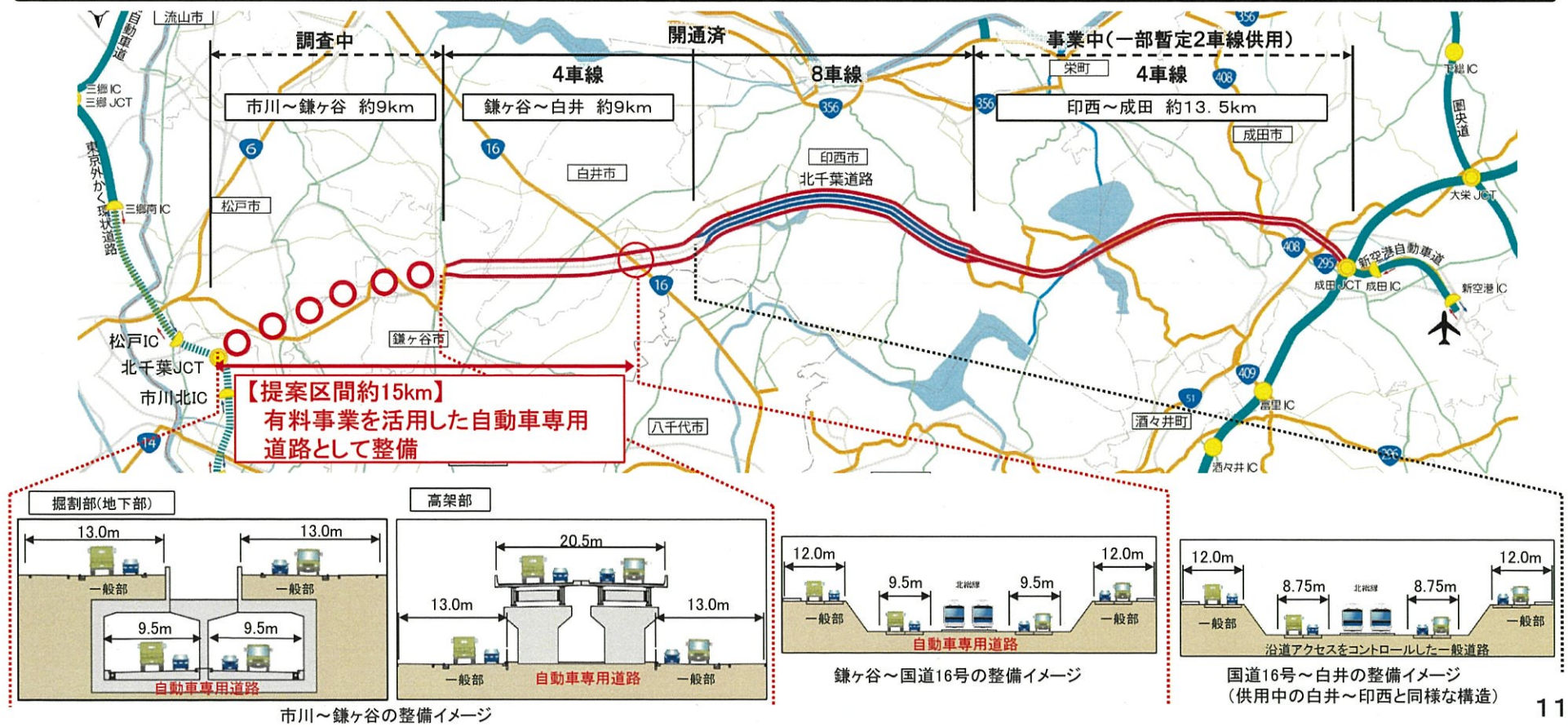
4. 県からの提案(課題④整備手法について)

国及び県の検討結果や沿線市の意見を踏まえ、早期整備のため市川～国道16号間について、有料事業を活用した自動車専用道路として整備することを幹線道路協議会(道路協議会)にて提案予定



5. 第6回連絡調整会議の総括

- ◆市川～鎌ヶ谷の構造形式
 - 県や沿線市からの意見や要望を踏まえ、高架構造を基本
 - 北千葉JCTから約2kmの区間は、外環との連続性等を踏まえ掘割構造で計画
- ◆鎌ヶ谷以東の構造
 - 交通特性を踏まえ鎌ヶ谷～国道16号間は、自動車専用道路を整備
 - 国道16号～白井間は、沿道アクセスをコントロールした一般道を整備
- ◆整備手法
 - 国や県の検討結果や沿線市の意見を踏まえ、早期整備のため、市川～国道16号間は有料事業を活用した自動車専用道路として整備することを、幹線道路協議会（道路協議会）にて県より提案予定



6. 今後の検討課題

- 「専用部と一般部の連結位置」については、引き続き調整
- 印西～成田間（事業中区分）の速達性・定時性の確保

※国、千葉県、沿線市で連携し、地域との合意形成を進めながら実施